



このまちが大好き

たくさんの愛をありがとう

Interview

十和田は最高のまち

熱血!!勝浦タンタンメン船団 船団長 磯野 典正 さん
何度も足を運ばせていただいて、B-1グランプリに向けて、どんどんまちが変わっていく姿を見てきたので、この大会はすごいことになるんだろうなと感じていました。
今までとは違い、いろいろな人が出展団体のために、来場者のためにと頑張っていました。バラゼミはじめ十和田市民には本当に感謝しています。



投票結果

■ゴールドグランプリ
熱血!!勝浦タンタンメン船団
(千葉県勝浦市)



■シルバーグランプリ
対馬とんちゃん部隊
(長崎県対馬市)
■ブロンズグランプリ
津ぎょうぞ小学校
(三重県津市)

十和田市民に「ありがとう」

十和田バラ焼きゼミナール 舌校長 畑中 宏之 さん
『まちづくり=人づくり』の取り組みが実現し、愛にあふれた大会になりました。あの小中高生ボランティアの輝きはすごいです。他にはない全国に誇れるものです。
今回、多くの市民のかたから温かい言葉をたくさんいただきましたが、「ありがとう」が一番多かったんです。皆さんの思いが伝わってきて感動しました。



新たなまちおこしのムーブメント

第10回の記念大会となる今大会、市民のおもてなしはそれにあふさわしく、理想形であったとご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会の渡邊英彦会長は言いました。
2日間で延べ5500人を超えたボランティア。その半数が小中高生のボランティアです。小中高生たちは、事前に市について深く学び、この大会の中で授業では学べない経験をし、ふるさとを思う気持ちと視野を広げました。大人のボランティアも、心からのおもてなしで人の温かさを全国へ発信し、市民の手によるまちおこしを展開しました。
至る所で聞こえた「ありがとう」が、いかに愛にあふれた大会であったのかを示します。ふるさとへの思いが人をつなぎ、地域をつなぎ、明日へのムーブメントを起しました。この大会で私たちは知ったはずです。まちおこしの主役は市民一人一人。そして、私たちにはその力が十分にあるということ。

特集「愛∞」終わり

ボランティアの数だけおもてなしがありました

市民が主役のまちおこし

市PR・案内



高清水小5年 笹森 崇平 くん
紙芝居『八之太郎と南祖坊』やパネルを使って十和田市の紹介をしました。
十和田市にたくさん人が来てくれてうれしいです。これからも、もっと十和田市のことをPRしたいです。

行列代行



三本木小6年 沖沢 あやか さん・新坂 優奈 さん
並ぶのが大変なベビーカーを押したかたやお年寄りの代わりに1日で5回位並びました。皆さん、とても喜んでくれました。
B-1が終わっても、困っている人がいたら助けてあげたいです。

ゴミステーション



三本木中3年 岡山 裕海 くん・沢井 優仁 くん
元気にあいさつをするように心掛けました。ごみをもらいに行ったら「ありがとう」と言われると、とてもいい気持ちになりました。
B-1をきっかけにたくさんの人に十和田市に来てほしいです。

トイレ管理係



十和田西高2年 濱 俊輝 さん
トイレの清掃と、清潔な手でおいしく料理を召し上がっていただけるように、トイレの後に手に除菌スプレーを掛け、ラビアンロール(手拭き紙)で手を拭いてもらうおもてなしをしました。
「お客様が最後までゆっくりとB-1グランプリを楽しめますように。ラビアンローズ!」とメッセージを送ると、くすっと笑われたり、お礼を言われてやりがいを感じました。

授乳所



広田 直喜 さん・明子 さん 夫婦
小さい子ども連れの家族が来たときに、プライベートルームがあった方がいいなと思って、友人と共にキャンピングカーを提供しました。授乳など1日30組ぐらいが利用しています。
人の温かさを通して「十和田市は住みやすいまちだよ」と伝えたいです。十和田市にたくさん人が集うようになってうれしいですね。

記念写真撮り隊



テーブル拭き



出展団体補助



アンケート回収



このほかにも、シャトルバス出迎え、清掃、足湯、駐車場管理、まちかど案内など、たくさんのボランティアがおもてなしを行い、市民の心の温かさと結束力を全国へ発信しました。大きな成果を生んだ市民のまちおこしです。